

保証書 & 取扱説明書 No.101.

株式会社 和工

アナログクォーツ時計

商品名	時計番号
ご購入年月日	年 月 日
ご愛用者名	おなまえ おところ

販売店

印

ご購入の日より1年以内の自然故障につきましては、無料にて修理調整をいたします。販売店の記名、捺印のないものは、無効でございますので、ご注意ください。

このたびはアナログクォーツ時計をお買い上げ賜りありがとうございます。お選び頂きましたこのクォーツは優れた技術と独自のセンスのよりに個性豊かに仕上げられたアナログ式高級腕時計です。どうぞ末永くご愛用下さいませ。

※使用前には保証書及び取扱説明書をよく読んで正しくご使用下さいませ、お願い致します。

お客様への注意

1. お買い上げいただいた腕時計は、本体、金属バンド又は皮革バンドが直接肌に密着しますので、場合によっては金属アレルギーや皮膚のかぶれを起こすことがあります。その時はただちに使用をおやめ下さい。
2. 時計をかけた腕で身体をこすったりすると身体に傷をつける場合がありますのでこのような行為はおやめ下さい。
3. サウナ風呂など高温の場所で使用すると火傷をすることがありますので使用をひかえて下さい。
4. 時計をしたまま激しい運動をしますと、それが原因で時計が破損して怪我をする場合がありますので運動時の使用はおやめ下さい。
5. 万一、時計を落下して破損した場合は速やかに、破損片をかたづけて下さい。お子様が部品を飲みこんだり、思わぬ怪我をする場合があります。
6. 汗、及びほこり等に依り衣服の袖口が汚れる事が有ります。(時計のお手入れ方法を参照下さい。)
7. 強化防水時計は、潜水用ではありませんので潜水時の使用はおやめ下さい。
8. 時計を改造して使用した場合の怪我等については、保証をしかねますので予めご了承願います。
9. 誤った使用によって怪我をした場合の保証はしかねますので予めご了承願います。
10. 時計の時間遅れの原因となりますので、健康器具(磁気)等との併用はお避け下さい。

保証規定

※保証期間内に正常なご使用状態で、万一故障した場合には無料で修理・調整いたします。

※修理・調整は本保証書を提示の上、原則としてお買い上げ店にご持参の上ご依頼下さい。

※つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。

- (イ) 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷。
- (ロ) 不適当な修理や、改造による故障または損傷。
- (ハ) 火災、水害または地震など、天災地変による故障または損傷。
- (ニ) ご使用中に生じた外観上の変化(ケース、ガラス、バンドの小キズなど)
- (ホ) 本保証書の字句を書き換えられた場合。
- (ヘ) 本保証書のご提示がない場合。

※革バンド・合成樹脂バンド及び電池などの消耗品は保証の対象外になります。

※修理のとき、ケース、文字盤、針、ガラス、バンドなどは、一部代替部品を使用させていただきますことでもありますのでご了承下さい。

※この保証書は保証規定を明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

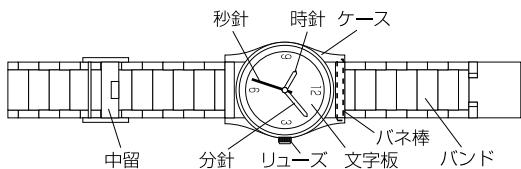
※当社宛郵送又は輸送の際の料金は、お客様にご負担願います。

(注) 誤った使用とは非防水時計を水中に入れた場合、高温または低温のところに時計を置く場合などの使用状態をいいます。

サービスセンター

関東:埼玉県戸田市笹目北町12-11 関西:大阪市淀川区加島3丁目2番15号 原田ビル
〒335-0033 〒532-0031
TEL.048 (421) 9831 (代) TEL.06 (6306) 0777

①時計各部の名称



②アナログ(針式)クォーツ時計の様

1. 機能: 二針、三針、三針・日付、三針・日・曜日付
1. 時間精度: ±20秒/月(常温における携帯精度)
1. 連針方式: 1秒ステップ連針(二針を除く)
1. 水晶振動数: 32,768Hz(Hzは一秒間の振動数)
1. 表示方式: ダイアルと針によるアナログ式
1. 使用バッテリー: 酸化銀電池、リチウム電池
1. 電池寿命: 新しい電池組込後約2年(酸化銀電池)、約10年(リチウム電池)
※但し、使用中の時計にかかる負荷が環境及び使用状況等によって個々に異なりますので電池交換後、必ずしも2年~10年を保証するものではありません。(裏面の⑦使用上の注意事項1~4参照)

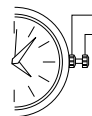
③アナログクォーツに組み込まれているバッテリー(電池)について

1. お買い上げ頂いた、アナログクォーツに組み込まれているバッテリーは、時計の機能や性能をチェックするためのモニター用です。
2. つまり、このバッテリーは、当社より出荷される時、組み込まれておりますので、お買い上げの期間間までにある程度、消耗しています。このため、このバッテリーは、所定の期間までに、ある程度、消耗しています。
3. このため、このバッテリーは、所定の期間の電池寿命がないことがあります。
4. もし、新しいバッテリーに交換するときには、保証期間内でありましても、有料になりますので、よろしく願いいたします。

④アナログクォーツのご使用方法について

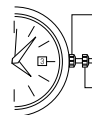
●二針・三針、時刻の合わせかた

1. リューズを1段引くとストップし、時刻合わせをして下さい。
2. リューズを押し込むとスタートします。



●三針・日付の合わせかた

- リューズを1段引いた状態でを行います。(この状態では、時計は動いています。)
次に、リューズを左、右いずれかに回転させて日付を変えます。
- ※ムーブメントによって、左回転で日付けを変えるものと、右回転で日付けを変えるものがあります。



●三針・日付・曜日の合わせかた

- リューズを1段引いた状態でを行います。
リューズを右回転しますと日付が変り、左回転させますと、曜日が変ります。



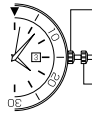
●時刻の合わせかた(針の合わせかた)

- 時刻合わせは、リューズを2段引いた状態で、針を左、右いずれかに回転して合わせます。(2段引いた状態では、時計はストップします。)



●三針・ダイバー(ネジロック式)、日付の合わせかた

- リューズはネジ式になっており左回転させゆるめ、1段引いた状態で行い(この状態では、時計は動いています。)
次にリューズを左右いずれかに回転させて日付を変えます。操作後リューズを締め忘れと防水不良の原因となります。

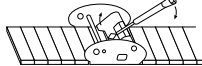


●時刻の合わせかた(針の合わせかた)

- 時刻合わせは、リューズを2段引いた状態で、針を左、右いずれかに回転して合わせます。(2段引いた状態では、時計はストップします。)
針合わせが終わりましたら、軽くリューズを押しながら右回転させて戻します。

⑤バンドサイズ調整方法について

1.スライドタイプ



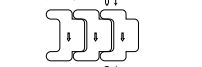
上図のように中板の穴の中にドライバーなどを差し込み、中板を開けますと、サイズ調整が容易にできます。
なおスライダーの位置を決める時は、バンド裏側のミノ又は谷にスライダーの凸部を確実に入る位置に合わせて下さい。

2.ピンタイプA



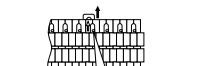
- (1) 裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出し、ピンを抜いて下さい。
- (2) 必要な分だけバンドのコマを抜き取り、長さを調整します。
- (3) バンドをつないで、ピンを元のように完全に押し込んで下さい。

ピンタイプB



- (1) 裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出し、ピンを抜いて下さい。
- (2) 必要な分だけバンドのコマ抜き取り、長さを調整します。
- (3) バンドをつないで、ピンを元のように完全に押し込んで下さい。

3.板バネタイプ



- (1) バンド本体裏のアジャスト穴にピンセット又は千枚通しのようなもので、矢印の方向にアジャスト板バネを押し出して下さい。
- (2) 同様にして、もう一方のアジャスト板バネを押し出し必要なコマをはずして下さい。
- (3) バンドをつないで、アジャスト板バネを元のようにピンと音がする迄、完全に押し込んで下さい。

4.三つ折れタイプ



上面サイドのアジャスト穴にピン等を差し込んでなかのバネ棒を移動させバンドの長さを調整して下さい。

5.エバータイプ

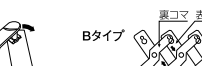


ドライバーで板を折り曲げ、ピンを引き抜いて下さい。

6.Xタイプ



Aタイプ
コマのはずし方
折り曲げてある切り込みのすき間より脱着可能です。



Bタイプ
コマのはずし方
裏コマを表コマの大きい穴まで移動する事によって簡単に取れます。

7. ネジタイプ

- (1) 小さなドライバーでネジをゆるめ、腕のサイズに合わせて不要なコマを取り外して下さい。
- (2) サイズ合わせをしたらコマとコマをネジでしっかりと締め、反対側に接着剤を一滴付けて下さい。

8. バネ棒タイプ

- (1) コマをずらす
- (2) コマをずらす
- (3) コマをずらす
- (1) ハンド側面の穴部を調整金具先端で矢印方向に押しながらハンドコマをずらす。
- (2) ハンドコマをずらしバネ棒を抜くとハンドコマがバラバラに外れます。
- (3) 長さ調整後バネ棒をハンドコマに入れバネ棒ピン先を押しながらハンドコマ穴部に固定する。

9. 三つ折れバックルタイプ

- バックル本体とピン板が開いたら革バンドをその中に入れてお好みの長さに合わせてバンドの穴にピンを差し込みピン板を元の位置にもどしてしっかりと固定して下さい。
- ※バンドの調整方法に不明な点があれば、販売店又はサービスセンターにご相談下さい。

⑥防水性について

アナログウォッチの防水表示は強化防水(5気圧以上)と日常生活防水(1気圧~3気圧)の2種類があります。

①強化防水は裏蓋にWATER RESISTANTと文字板が裏蓋に気圧表示をしてあります。(例:5気圧・50M、10気圧・100M、20気圧・200M)

②日常生活防水は下図を参照願います。

※時計の内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低いときにはガラス面がかもる場合があります。くもりが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合は、お買い上げ店、又はサービスセンターにご相談下さい。

用途は下図参照の事

タイプ	使用条件	防水性			
		強化防水20~30気圧	強化防水10気圧	強化防水5気圧	日常生活防水
強化防水20~30気圧	●一般的にかかる水滴(洗顔・雨等)	○	○	○	×
強化防水10気圧	●水泳、ヨガ等の水上スポーツ、漁業・農業等の水仕事、水道の蛇口等強い水流	○	○	×	×
強化防水5気圧	●酸素ボンベを使用しないスキューバダイビング	○	×	×	×
日常生活防水	●水中でのリユース操作並びに水滴の付いたままでのリユース操作	○	×	×	×
非防水		×	×	×	×

⑦使用上の注意事項

1. 温度について

直射日光下や高温になるところや、寒い所へ長時間置かないで下さい。故障の原因(遅れ・進み)や電池寿命が短くなりますのでご注意ください。※-5℃以下+50℃以上の温度下で長時間放置しますと、とまりの原因となります。腕につければもとの精度にもどります。(この場合は時刻を修正して下さい。)

2. ショックについて

軽いスポーツによる影響はありませんが激しいスポーツの場合は取外して下さい。※床や道路などへ落す激しいショックは与えないで下さい。

3. 磁気について

家庭用電気製品程度の磁気には心配ありませんが磁石や磁石付きの器具(健康器具・マージャン台)などには近づけないで下さい。※磁気の影響で一時的な進み遅れが生じる事があります。磁気から遠ざけるとその精度で動きます。この場合時刻を修正して下さい。

4. 振動について

オートバイ・削岩機・チェーンソーなどの強い振動が加えられた場合一時的に遅れる原因となります。

5. 化学薬品・ガス等について

ガス・水銀・化学薬品など(シンナー、ガソリン各種溶剤又それらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品等)が触れるとケース、バンド、文字板の変色が生じます。

6. 海水に入ったときのお手入れ方法

ケースについた海水を真水でよく洗い落してサビが出ない様にして下さい。又、洗った後は柔らかい布等でよく水分を拭き取って下さい。おこたりますと、ケース・バンドにサビが発生し腐食の原因となります。

⑧時計のお手入れ方法

●ケース・バンド

ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接していますので、汚れたままにしておきますと、衣服の袖口を汚したり、皮膚の弱いかたは、かぶれたりします。汚れや水分は柔らかい吸湿性のよい布で拭きとり、常に清潔にご使用ください。また汗をかきやすい季節には、バンドを少しゆるめにつけ通気性をよくして下さい。

●金属バンド

時々やわらかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどをして下さい。(汚れたままにしておきますと、サビたり腐食してしまいます。)

※非防水時計は時計本体に水がかからないようにご注意ください。

●皮革バンド

水分・汗・汚れなどが大敵です。吸湿性のよい布で拭いて、時計をはずしたあとは、風通しの良い所においてください。皮膚がかぶれる原因となります。

●点検のおすすめ

電池交換時または2~3年に1度の点検をおすすめします。保油状態・漏液の有無・汗や水分浸入の有無などを、お買い上げ店または、販売店で点検してもらって下さい。点検の結果によっては、分解掃除を必要とする場合があります。※そのときに「フックンヤ」バネ棒の交換を御依頼下さい。※部品交換のときは「純正部品」とご指定下さい。



⑨太陽電池時計について

●6ヶ月(フル充電)タイプ

1. クイックスタート機能
充電が全くされていないと時計は停止しています。光を当てると、数分で時計の針が動き出します。(光の明るさによって、針が動きだすまでの時間は異なります。)ただしこのとき光をささぎると充電が充分できないため時計が停止してしまいますので注意して下さい。

2. 時計合わせ告知機能
クイックスタート機能が働くとき時計は動き出しますが、時刻が狂っているため、秒針が変則2秒運針して時刻が狂っていることを知らせます。このような場合は十分に充電して時刻を合わせ直して下さい。時刻合わせ操作をしないと変則2秒運針が続きます。

3. 受電警告機能
充電不足になると秒針が2秒運針して充電不足を知らせます。このとき時計は正確に動いていますが2秒運針を始めてから約3日間(72時間)過ぎると時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、もとの1秒運針に戻して下さい。※一部充電警告機能のない時計(プライスにNCFと表示)もござります。充電切れで時計が停止した場合は約1時間程度、太陽光に当てると通常運針(1秒運針)に戻ります。その後フル充電までに用いる時間等は下記の表をご参照ください。

4. 過充電防止機能
二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので安心して充電できます。

6ヶ月(フル充電)タイプ

照度(Lx)	環境	充電時間		
		止まってから1秒運針までの充電時間	1日の充電時間	フル充電時間
500	室内照明	約30時間	約1時間	約250時間
1,000	蛍光灯の下 60~70cm	約15時間	約35分	約125時間
3,000	蛍光灯の下 20cm	約5時間	約10分	約40時間
10,000	曇天	約1時間30分	約3分	約12時間
100,000	星の日の直射日光下	約25分	約1分	約3時間30分

5ヶ月(フル充電)タイプ

照度(Lx)	環境	充電時間	
		1日の充電時間	フル充電時間
500	室内照明	約1.4時間	約242時間
10,000	曇天	約6分	約15.7時間
100,000	星の日の直射日光下	約3分	約8.3時間

※その他取扱方法に付いては、上記6ヶ月(フル充電)タイプと同じ操作方法となります。取扱説明書確認の上ご使用下さいませようお願い致します。

■ソーラー時計充電時間の見方

時計のモデルによっては充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用下さい。※1日分の充電時間:時計が1秒運針で1日動かすのに必要な充電時間。※フル充電時間:時計が止まっている状態から最大に充電されるまでの時間。

【ソーラー時計取り扱いの注意】

1. 時計は常に充電を心掛けてお使い下さい。
 - 日常長袖などを着用しているとき時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。
 - 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心掛けると、時計は常に正しく動き続けます。
2. 指定電池以外は使わないで下さい。

●この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないで下さい。他の種類の電池を組み込んで時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類に電池を使い方充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は必ず指定の二次電池をご使用下さい。

3. ソーラー時計充電上の注意

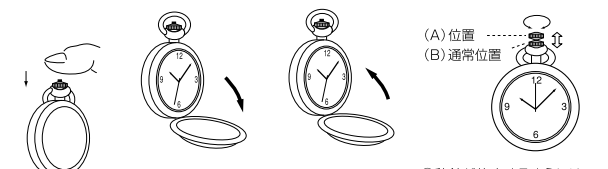
- 充電するときは時計が高温になると、故障の原因となりますので高温下(約50℃以上)での充電は避けて下さい。
- 例) 白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。ダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。

4. 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないで下さい。
- やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止の為、幼児の手の届かないところに保管して下さい。
- 二次電池を万一反り込んだ場合には、直ぐに医師と相談して治療を受けて下さい。

⑩懐中時計について

【表蓋の開閉方法】



- ① リユース中心のボタンを押す。
- ② 蓋が開きます。 ※パネ式になっていますので開いたままになります。 ※蓋が自然に開いている角度以上に、蓋を上げないようにご注意ください。
- ③ フックが付いているので「カチン」と音がするまで、強めに締めて下さい。

【時刻合わせ】

- ① 秒針が停止するようにリユースを引いて(A)位置に合わせます。(ストップ)
- ② リユースを回して時刻合わせをします。
- ③ 時整などに合わせてリユースを通常位置(B)に戻します。(スタート)